



第 13 回例会

平成 18 年 10 月 4 日 (水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 君が代 斉唱
- 3 ロータリーソング奉仕の理想
- 4 四つのテスト
- 5 会長挨拶
- 6 誕生日のお祝い
- 7 ロータリーの友の
読みどころ
- 8 ゲストスピーチ 福島河川国道事務所
所長 植田 雅敏様
- 9 各委員会スマイル・財団出席報告
- 10 閉会点鐘



今月の誕生日の御祝い



会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



皆さんの温かい御協力を頂き4ヶ月目を迎えることができました。先週の新入会員歓迎会には多数の御出席を頂き一層の親睦を深め楽しい一時を過ごして頂けたかと思えます。

新入会員の皆様にはこれを期に一層の昇進して頂ければ幸いです。

また、SAAと親睦委員会の皆様は色々大変御苦労様でした。

今月は、職業奉仕月間・米山月間となっております。本日は職業奉仕委員会より、福島河川国道事務所の所長 植田 雅敏様のスピーチをお願い致しておりますので後程、職業奉仕委員長の金子與宏さんより御紹介を頂きます。

さて職業奉仕には、色々な取組方があると思えますが、基盤は一つに集約されると思われれます。ロータリアンは職業を通じて社会に貢献しなければと云うことです。

その為には、私達は職業に誇りを持ち正直に実践する事と思えます。

最後になりますが、CLPについての資料を会報と一緒に入れておきました。効果的なクラブ管理体制を作り、ロータリー活動を強化活性化する為の目的でございます。

来週までに、お目を通していただきまして、ご理解と御協力頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

今月・来月のプログラム

- 10月18日(水) 異動例会 福島地方裁判所
- 10月22日(日) 福島南RC第三回ゴルフコンペ
- 10月27日(金) 2530地区大会
会場 ロイヤルホテル丸屋
- 10月28日(土) 2530地区大会
会場 南相馬市民文化会館

ゲストスピーカーのご紹介

金子 與宏



本日スピーチを頂きます、福島河川国道事務所の所長 植田雅敏様です。

高知県出身で、昭和42年10月7日生まれで先ほど皆様と一緒に御祝いさせて頂きました。

最終学歴は、大阪大学の大学院を卒業なされ、当時の建設省に入省され、平成5年には福島工事事務所に勤務なされ、今回福島は二度目の赴任だそうですが、一度目は独身の時だそうですが、今回は奥様と一緒に東京生まれで地方が始めてだそうです。奥様は福島にほれこんでいるそうです。

今日は、スピーチ宜しくお願い致します。

ゲストスピーチ

植田 雅敏様

あらためまして福島河川国道事務所の植田でございます。

本日は、南RCの例会にお招き頂ましてありがとうございます。また誕生日のお祝いまで頂き素敵なメッセージもありがとうございました。



今日は、お手元に資料をお配りしてありますように、当初は阿武隈川の洪水を防ぐという目的でできた事務所でありますけれど昭和になりましてから内務省の一組織として道路も担当するようになりました。

私どもの事務所で担当しているのは、河川は阿武隈川の宮城県との県境から須賀川市の乙字滝までの区間の河川の管理と整備、道路は国道4号の宮城県との県境から南は本宮町のアサヒビール工場前までの国道4号の区間と、国道13号は福島の舟場町の交差点から、山形県の西栗子トンネル越えた所までが私どもが管理をしているところでございます。

国交省の最大の使命責務は、国民の皆様。地域の皆様に自然災害から守り安全で安心な国土を造ってゆくことだと思っております。

阿武隈川についての保全の取組を照会させて頂きます。最初に主要な洪水の中で記録に残っているものは、昭和16年の台風による洪水の被害となります。戦後ですと皆様も記憶に新しいと思いますが、昭和61年の8・5の洪水が戦後最大の洪水被害がありまして、大きな被害が出ないようにと、平成の大改修というのに取組みまして、福島地区でも堤防工事など河川を整備し、降った雨ができるだけ川の中を流れて海までつたわるように、市街地に流れ込まないようにと、平成10・11・12年と3年間で800億というお金が費や

され、このお金の規模ですが、私どもの事務所で河川の改修に使っています年間の予算が約20億位ですので、この3年間で40年分位の仕事をしたということになり、これにより整備率が格段に上がったわけでありませう。

道路に関しては、福島から米沢までの東北中央自動車道は今年度より福島河川国道事務所が直轄で工事を実施することになりました。

福島西道路も只今整備中で南側の計画案が医大までの間をトンネルでの案の意見が良いのではと検討し計画を進めているところです。

これからも地域の方々やRCクラブの皆様とも意見を交換して行きたいと思っております。

今日はありがとうございました。



編集担当 鈴木 光一